

# 大阪湾漁場環境速報

2023年11月10日発行  
兵庫のり研究所

海域全般に、大型珪藻のコシノディスカスが確認されています。窒素は、陸水等の影響が見られる湾奥部を除き、概ね3 μg-at/L前後の値でした。

(水温) 表層は湾内20~21℃台で、平均21.3℃。平年比約0.7℃高い。-10m層は平均21.5℃(平年比+0.5℃高い)。

(塩分) 表層平均32.16psu(平年 31.43)。-10m層平均32.40psu(平年 32.05)。

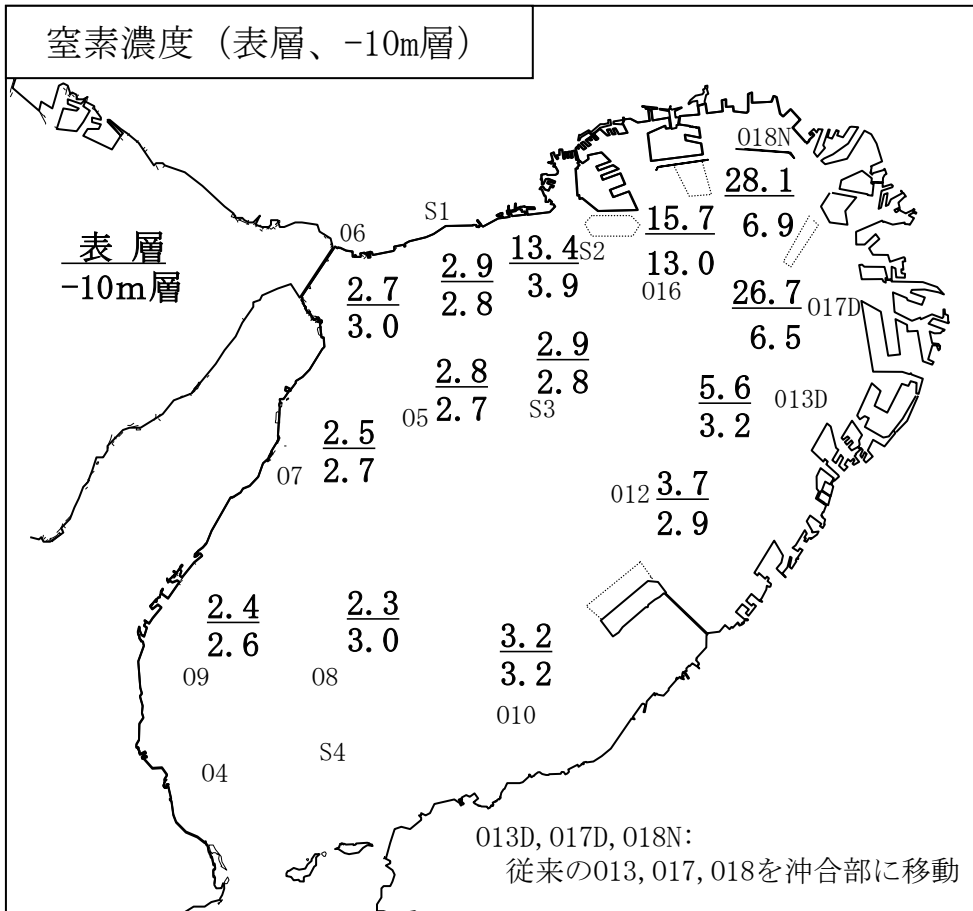
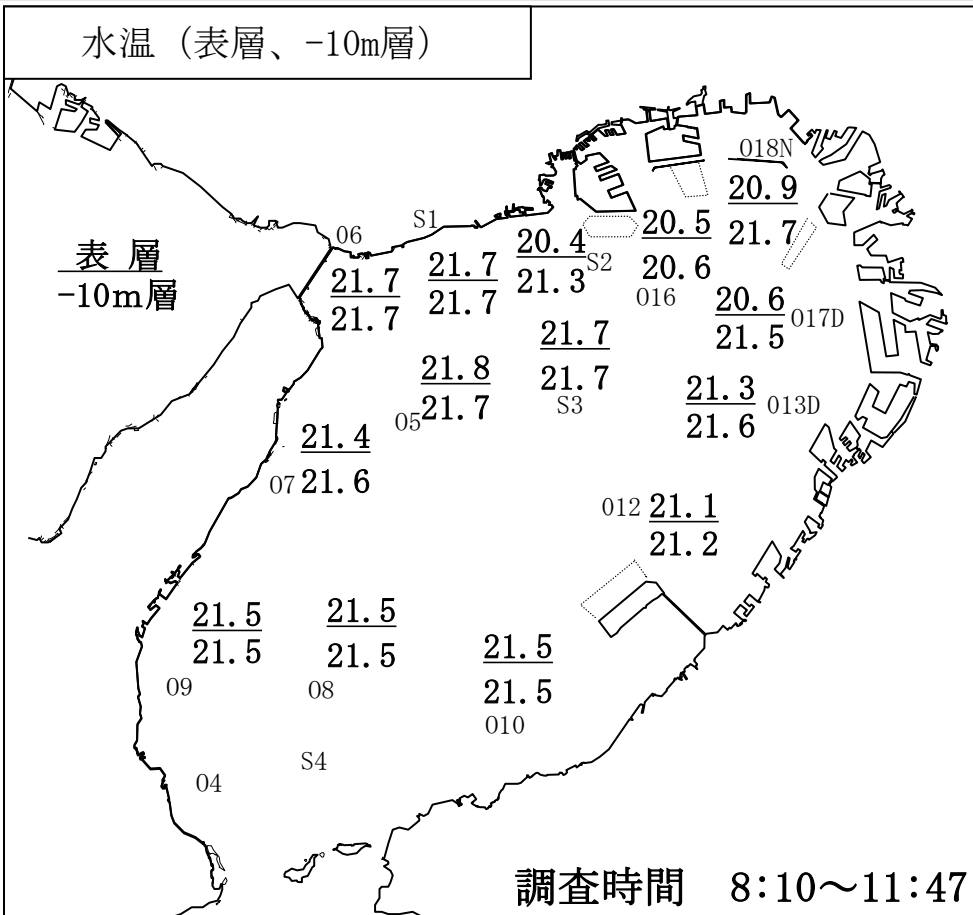
(栄養塩、他) 表層の窒素は平均5.0 μg-at/L、リンは平均0.64 μg-at/L。窒素は平年(6.9 μg-at/L)より低く、リンは平年(0.58 μg-at/L)よりやや高い。-10m層(平均)は、窒素3.9 μg-at/Lで表層より低く、リン0.60 μg-at/Lで表層よりやや低い。

和田岬から湾奥・大阪南港沖にかけては表層の水温及び塩分が低く、表層の窒素は10 μg-at/L以上あり、コシノディスカスの発生量は少なく、スケルトネマが確認された。

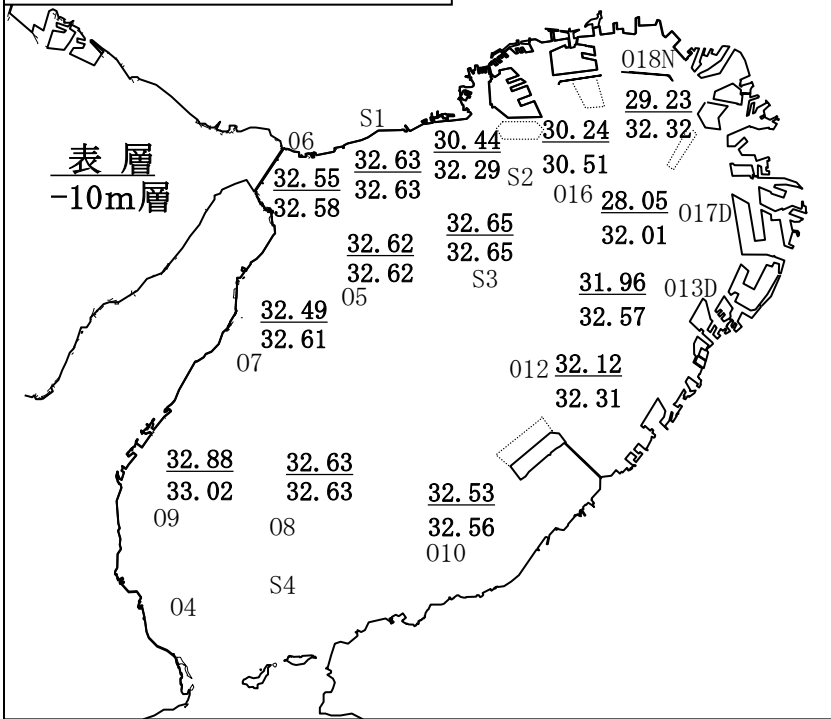
その他の海域では、表層及び-10m層においてコシノディスカスが確認されており、窒素は概ね3 μg-at/L前後の値であった。

上段 (今回値)	2023年11月 9日調査
中段 (昨年値)	2022年11月10日調査
下段 (平年値)	11月上旬

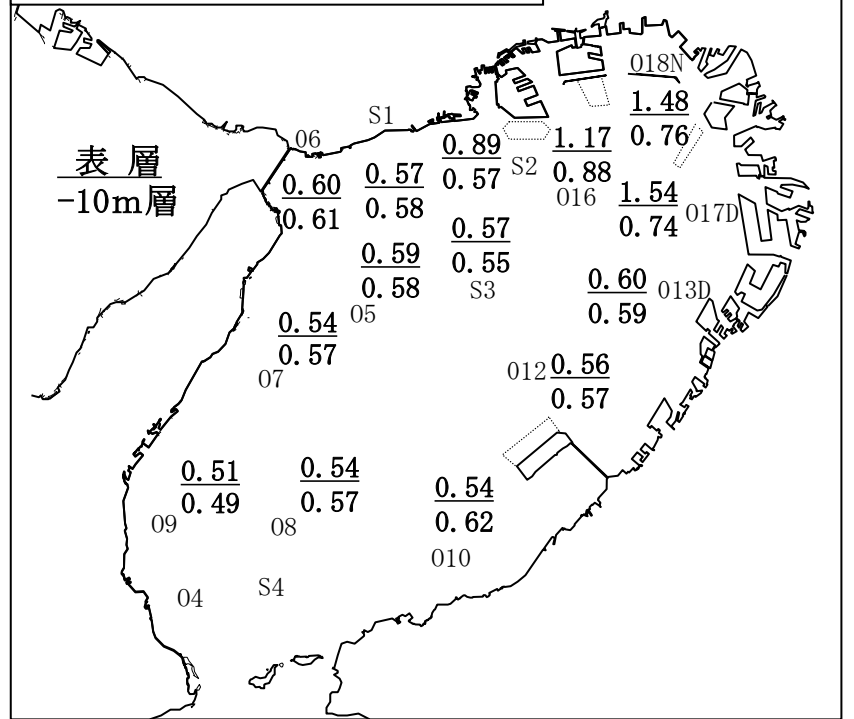
調査地点	水温 (°C)	塩分 (psu)	三態窒素 (μg-at/L)	リン (μg-at/L)
04				
05	21.8	32.62	2.8	0.59
	20.9	32.68	5.3	0.59
06	21.2	31.87	6.0	0.57
	21.7	32.55	2.7	0.60
07	20.9	32.69	5.3	0.58
	20.8	31.21	6.7	0.58
08	21.4	32.49	2.5	0.54
	21.0	32.71	5.5	0.58
09	21.2	31.95	5.9	0.80
	21.5	32.63	2.3	0.54
10	21.3	33.15	5.0	0.52
	21.2	32.11	5.6	0.54
12	21.5	32.88	2.4	0.51
	21.4	33.29	5.2	0.51
13D	21.1	32.06	5.3	0.51
	21.5	32.53	3.2	0.54
16	20.9	32.82	6.1	0.62
	20.5	31.61	6.4	0.57
17D	21.1	32.12	3.7	0.56
	20.0	31.71	7.1	0.47
18N	20.3	31.12	6.5	0.51
	21.3	31.96	5.6	0.60
S1	19.9	31.54	8.6	0.53
	20.2	30.92	7.4	0.48
S2	20.5	30.24	15.7	1.17
	19.2	31.06	8.0	0.34
S3	19.7	29.62	11.1	0.61
	20.6	28.05	26.7	1.54
S4	19.9	30.24	17.6	0.59
	20.0	28.52	23.5	0.91
013D	20.9	29.23	28.1	1.48
	19.1	29.27	25.4	1.22
016	19.5	26.98	36.4	1.78
	21.7	32.63	2.9	0.57
017D	21.0	32.80	5.4	0.59
	20.7	30.81	7.2	0.58
018N	20.4	30.44	13.4	0.89
	19.5	31.65	6.6	0.44
S1	20.0	30.02	8.7	0.58
	21.7	32.65	2.9	0.57
S2	20.6	32.57	5.4	0.55
	20.8	31.52	6.4	0.57
S3				
S4				



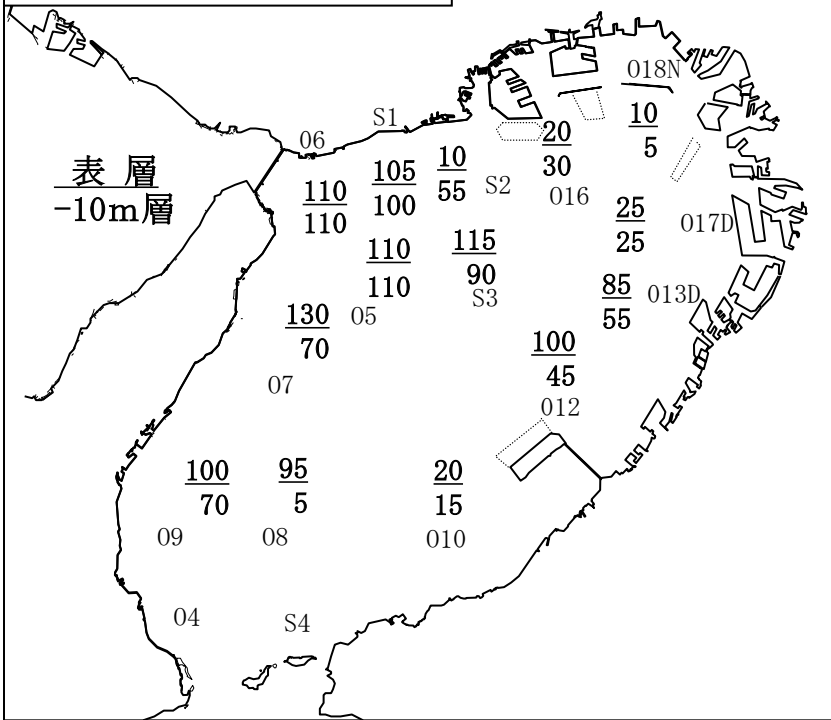
塩分 (表層、-10m層)



リン濃度 (表層、-10m層)



コシノディスクス (細胞/L)



スケルトネマ (細胞/ml)

